

福岡県社保協

Fax Mail ニュース

2020.12.2 No.85

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431

FAX 092-483-0435

E-mail syaho@f-kenren.or.jp

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討は即刻撤退！

県社保協で声明を発表

75歳以上医療費2割化反対署名、急ピッチに広げよう！！

11月19日開催の厚生労働省社会保障審議会・医療保険部会は、後期高齢者の窓口2割化負担について、具体的な所得基準の考え方を示し論議しました。

2割負担化の導入を前提とした提示に対して、医療側の委員から、「コロナ禍で2割負担導入は社会不安を招く」「今回の見直しを見送るべき」との意見があった一方で、健保連など被用者保険の委員からは「後期高齢者支援金が増大」「原則2割とするべき」など、導入を進めるべきという意見が出されました。

11月25日開催の財政制度等審議会（財務省主幹）では、受益（給付）と負担の不均衡を是正し、制度の持続可能性を確保するための改革が急務とし、医療の分野では、窓口負担割合の2割化を強調しています。「医療保険部会」は、年内にも意見を取りまとめる予定となっています。政府の「全世代型社会保障検討会議」も年内に「最終報告」を出す予定であり、75歳以上の医療費2割化の導入を許さないために、署名を急ピッチで取り組む必要があります。

年 月 日

参議院議長 殿
衆議院議長 殿

75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名

2019年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現行「原則1割」の75歳以上高齢者の医療費窓口負担について「負担能力に応じてのへと改定していく」と強調、「一定年齢以上の人を対象とした「2割負担」を導入することを確認しました。今後、「国等の世代」が75歳以上にのみ始まる2022年までに実施できるような制度の構築を講じてまいります。

中間報告は、「社会保障のたぐい」と高負担を1割にまで引き上げながら新たな負担を高齢者に押し付ける内容です。これでは高齢者の生活はますます苦しくなってしまいます。高齢者の所得の8割は公的年金のみ、約7割の世帯は公的年金のみで生活しています。その年金も減らされ続けて1996年の210万円から2016年には180万円まで15%も減っています。さらに、高齢者の高齢化の深まりで、生活保護を受給している高齢者世帯は、安倍政権下で1.2倍以上に増えています。これ以上の負担増は大幅な受給抑制を引き起こし、高齢者の暮らしが脅かされることとなります。

「負担能力に応じてのへと改定していく」というのなら、税や社会保障料での増額こそが求められます。高齢者からの保険料を能力に応じて負担すべきです。また、国の社会保障制度の確保を消費税と「働き方」改革ではなく、「税負担軽減」など軍事費等の増額を盛くこと、早期発見、早期治療や薬価の削減し、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです。

後期高齢者の医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといひ、健康を守る上で大きな影響を及ぼします。よって以下の事項を請願します。

【請願事項】

1. 75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないでください

氏名	住所

＜呼びかけ団体＞
中央社会保険連合協議会
東京都中央区入舟1-15-5F 03-5808-5344
全日本年金者組合
東京都豊島区南大塚1-60-20 03-5978-2751
日本高齢者連合協議会
東京都中央区5-48-5-504 03-3384-6654

＜取り扱い団体＞

福岡県民医連では、75歳以上の医療費窓口負担割合反対のスタンディング宣伝を11月30日(月)に実施しました。私たちの訴えに、聞き入れる御高齢の方もいました。

